

食って食われて



登場動物紹介

もくじ

- | | |
|------------------|-------------------|
| ● イヌワシ・・・P.2 | ● モズ・・・・・・・・P.6 |
| ● オオタカ・・・P.2 | ● ネズミ・・・・・・・・P.6 |
| ● クマタカ・・・P.2 | ● モグラ・・・・・・・・P.7 |
| ● テン・・・・・・・・P.3 | ● トガリネズミ・P.7 |
| ● キツネ・・・・・・・・P.3 | ● ヘビ・・・・・・・・P.8 |
| ● タヌキ・・・・・・・・P.3 | ● カエル・・・・・・・・P.8 |
| ● クマ・・・・・・・・P.4 | ● ムカデ・・・・・・・・P.8 |
| ● シカ・・・・・・・・P.4 | ● ハチ・・・・・・・・P.9 |
| ● イノシシ・・・P.4 | ● オサムシ・・・P.9 |
| ● ノウサギ・・・P.5 | ● ゴミムシ・・・P.9 |
| ● リス・・・・・・・・P.5 | ● ミミズ・・・・・・・・P.10 |
| ● モモンガ・・・P.5 | ● ワラジムシ・・・P.10 |
| ● ムササビ・・・P.6 | ● ガ幼虫・・・・・・・・P.10 |

カードに出てくる動物たちを紹介するよ！





イヌワシ

生息地：北海道から九州にかけて山地の森林地帯
大きさ：体長約80cm、翼をひろげると2m近く
食べ物：野ウサギ、野鳥、ヘビなど

人間による森林伐採等により、生息地やエサである野ウサギなどが少なくなり、絶滅危惧種に指定されています。国の天然記念物にも指定されており、保護活動が行われています。

オオタカ

生息地：北海道から九州にかけて山地や平地の森林地帯
大きさ：体長約50cm、カラスと同じくらいの大きさ
食べ物：野鳥やリスやネズミといった小動物など

昔は個体数が少なく、絶滅危惧種に指定されていましたが、保護活動の結果個体数が増加し、現在は準絶滅危惧種に指定されています。



クマタカ

生息地：北海道から九州にかけて山地の森林地帯
大きさ：体長約80cm、翼をひろげると1.5m近く
食べ物：野ウサギや野鳥、ヘビやモグラなど

日本では古くから鷹狩りに利用されてきた鳥です。イヌワシと同じく、現在は個体数が減ってきているため絶滅危惧種に指定されています。



テン

生息地：日本全国の森林地帯

大きさ：体長約50cm、猫と同じくらいの大きさ

食べ物：リスやネズミなどの小動物や木の実などの植物

日本に生息するテンは全国に生息するホンドテン（ニホンテン）の他に、北海道に生息するエゾクロテン、対馬に生息するツシマテンがいます。

キツネ

生息地：日本全国の山地や丘陵地の他、市街地にてでく
る場合もあります。

大きさ：体長約50～90cm

食べ物：リスやモグラなどの小動物や昆虫、木の実など

日本に生息するキツネはアカギツネという種類で、北海道に住むアカギツネをキタキツネ、本州などその他の地域に住むアカギツネをホンドギツネと呼びます。



タヌキ



生息地：日本全国の山地や丘陵地の他、市街地にてでく
る場合もあります。

大きさ：体長約50～60cm

食べ物：ネズミやモグラなどの小動物や昆虫、木の実や
果実など

北海道に生息するタヌキはエゾタヌキ、本州などその他の地域に住むタヌキをホンドタヌキと呼びます。

また、上段でも紹介したキツネとタヌキは犬の仲間になります。

クマ



生息地：北海道、本州、四国の山地
大きさ：体長約130cm（ツキノワグマ）
約200cm（ヒグマ）
食べ物：木の実や果実、昆虫など

クマは北海道に生息するヒグマなど川で魚をとって食べているイメージが強いですが、実は雑食で、木の実や果実といった植物を主に食べます。森林伐採などで木の実などの食物が減ったことにより、山から畑や市街地に降りるクマが増加し、問題となっています。

シカ

生息地：北海道から九州の森林
大きさ：体長約80～170cm
食べ物：イネやササなどの植物

日本に生息するシカは南よりも北に生息する方が体が大きくなっています。体を大きくすると熱が逃げにくくなるので、シカ以外の動物でも寒い地域の方が体が大きい傾向にあります。



イノシシ



生息地：本州から沖縄の森林や里山
大きさ：体長約100～150cm
食べ物：木の実やヤマイモなどの木の根、昆虫など

イノシシといえば、立派なキバをイメージする方もいると思いますが、このキバは犬歯が伸びたものです。キバはオスとメス両方にはえませんが、オスの方が大きく立派なキバがはえます。またこのキバは、ネズミの歯のように一生伸び続けます。

ノウサギ



生息地：本州から九州の森林地帯や草原地帯

大きさ：体長約50cm

食べ物：葉っぱや樹の皮などの植物

ノウサギ（ニホンノウサギ）は本州などに生息していますが、北海道にはエゾユキウサギが生息しています。後ろ足が発達しており、キツネやタカなどの捕食者から逃げるため、時速80kmで走ることができる。日本のほ乳類では一番速いの動物です。

リス

生息地：北海道の森林地帯に生息、帯広などでは市街地でも多く見られる

大きさ：体長約25cm（エゾリス）

食べ物：木の実や芽、昆虫などを食べる



北海道でおなじみのエゾリスは、冬に冬眠をしません。秋の間に埋めておいた木の実を食べて冬を過ごします。リスに食べ忘れられた木の実は、春になると芽を出すため、リスは森作りにも貢献しているのです。

モモンガ

生息地：北海道から九州の森林地帯

大きさ：体長約15cm

食べ物：木の実や芽、木の皮など



モモンガは前足から後ろ足にかけて飛膜（ひまく）という膜を持っていて、木から木へ数十mも滑空をして移動します。（木の高さや場所により距離は変わります）尻尾は平たく、滑空する時に舵を取る役目があります。



ムササビ

生息地：本州から九州にかけての山地や平地の森林
大きさ：体長約40cm
食べ物：木の実や葉っぱ、果実など。

モモンガと同じで飛膜（ひまく）で滑空を行います、大きさはモモンガの2倍以上もあります。飛膜もモモンガは前足と後ろ足の間にかけてのみあるが、ムササビはさらに後ろ足と尻尾の間にも飛膜があります。



モズ

生息地：全国の平地や農耕地、河畔林
大きさ：体長約20cm
食べ物：ネズミなどの小動物やカエル、昆虫など

モズは捕まえたエモノを木の枝に刺したり、枝の間にはさんだりします。これを「モズのはやにえ」と呼びます。冬の保存食や、枝に刺した方が食べやすいなど、様々な説がありますが、なぜ「はやにえ」をするのかわかっていません。

ネズミ（ノネズミ）

生息地：日本全国の山林や農耕地、雑木林など
大きさ：体長約8～13cm
食べ物：木の実や植物の根や茎

日本には20種類近いノネズミがいますが、中でも代表的なノネズミは全国に生息するアカネズミです。アカネズミは日本にだけ生息し、冬眠はせずリスと同じように秋の内にエサを土の中に埋め、冬はそのエサを食べて冬を越します。



モグラ

生息地：本州から九州の森林や畑などの地面の中

大きさ：体長約10cm

食べ物：土の中にいるミミズや昆虫

日本にはアズマモグラなど6種類のモグラが生息していますが、北海道にだけ生息していません。

土の中で生活しているため、目は見えず光を感じる程度です。かわりに鼻の先にある「アイマー器官」という特別な触覚があり、触れたものを判別することができます。



トガリネズミ

生息地：本州中部から北の山地森林地帯

大きさ：体長約5～10cm

食べ物：昆虫やクモなど



日本には6種類のトガリネズミが生息しています。名前にネズミとつきますが、実はモグラの仲間です。北海道に生息するチビトガリネズミはほ乳類最小の生物と言われ、大きさは人間の大人の親指ほど。トウキョウトガリネズミとも呼ばれていますが、東京には生息せず、ネズミでもないツツコミどころの多い生物です。

ヘビ



生息地：全国の平地や山地の森林や草むら、水辺など
大きさ：体長100cm～200cm（アオダイショウ）
食べ物：ネズミや小鳥、カエルなど

写真のヘビはアオダイショウといい、日本に広く生息します。体長は200cmになる個体もあり、民家などに入り込むこともあります。毒を持たないため人間に危害を加えることはほとんどありません。

カエル

生息地：全国の平地等の森林や草むら等
大きさ：体長約3～4cm（アマガエル）
食べ物：昆虫やクモ等

写真のアマガエルは田んぼなどの水の中にいるイメージがありますが、実は卵を産むとき以外は森や草むらで生活しています。水の中で生活するのは、オタマジャクシの時だけなのです。



ムカデ



生息地：全国の森林や畑等の湿度が高いところ
大きさ：体長約7～13cm
食べ物：昆虫やミミズなど

ムカデは漢字で「百足」と表すように、多くの足を持っています。日本には100種類以上のムカデが生息し、足の数は種類によって違ってきます。

ハチ（狩りバチ）



生息地：全国の森林や雑木林、住宅地など

大きさ：体長約1~4cm

食べ物：昆虫や毛虫、樹液や花の蜜など

日本には4,000種類以上のハチがいるといわれていますが、大きく昆虫などを食べる「狩りバチ」と花の蜜を食べる「花バチ」に分けられます。スズメバチは人に危害を加えるイメージが強いですが、毛虫などの害虫を食べてくれる良い面もあります。

オサムシ

生息地：全国の平地や山地の森林や林

大きさ：体長約2~3cm

食べ物：昆虫やミミズ

発達した大あごと長い脚を持ち素早く走ってエモノを捕まえます。カタツムリを食べるマイマイカブリもオサムシの仲間です。



ゴミュシ

生息地：全国の平地から山地

大きさ：体長約0.5~2cm

食べ物：昆虫や幼虫など



ゴミュシは人間が捨てたゴミ溜めでよく見かけられることから名前がつけられました。ただし、ゴミを食べるのではなく、ゴミに集まる他の昆虫を食べます。オサムシの仲間でもあります。

ミミズ

生息地：全国の森林や草むら、畑などの土の中

大きさ：体長約7～8cm

食べ物：ゾウリムシなどが食べて細くなった植物や土

ミミズはワラジムシなどが食べて細くなった落ち葉などの植物を食べるため、ワラジムシと同じく「分解者」と呼ばれています。さらに、固い土の中を進んで土を柔らかくし、植物の根を伸ばしやすくさせるため、ミミズがいる畑は良い畑ともいわれています。



ワラジムシ

生息地：全国の森林や雑木林、草むらなど

大きさ：体長約1cm

食べ物：落ち葉や腐った植物など

ダンゴムシに似ていますが、触っても丸くはなりません。落ち葉や腐った植物を食べて細かくしていることから、生態系の中では「分解者」として、森の豊かな土を作っています。



ガの幼虫（毛虫）

生息地：全国の森林や平地の木々や植物

大きさ：体長約2～6cm

食べ物：植物の葉など

毛虫というと、毒を持っていて危ないと思う方もいるかと思いますが、実は毒を持つ毛虫はあまり多くありません。例えば、全国で大量発生することがあるマイマイガの幼虫も毒を持っていない毛虫になります。



気になる動物がいたら、自分で調べてみてね。
ぼくたちのことを知ってくれとうれしいな♥



国立大学法人帯広畜産大学農業共生圏高度専門家育成事業
URL:<https://www.obihiro.ac.jp/biodiversity>

